

府中市福祉計画策定のための調査 障害者計画・障害福祉計画第4期)

グループインタビュー調査計画(案)

1 目的とねらい

府中市福祉計画の部門別計画の障害者計画・障害福祉計画（第4期）を策定にあたり、その基礎資料を得るために、身体障害、知的障害、精神障害者、難病患者、障害者施設や障害者団体に対するアンケート調査を実施する予定である。

府中市障害者計画では計画の考え方の一つとして、『「すべての障害のある人」を対象とした計画』ということが掲げられている。また、障害者計画推進協議会でも、手帳所持者以外の障害のある人の実態や意識の把握の必要性に対するご意見があげられているところである。

そこで、アンケート調査では実態が把握しにくい発達障害者、高次脳機能障害者等の方について、当事者の方やその家族、家族会、支援団体、施設にグループインタビューを行い、当事者および家族の生活実態や課題、ニーズ、支援のあり方をたずね、施策を推進するための課題と方向の参考とする。

2 調査対象・調査項目

| グループ | 調査対象 | 調査項目 |
|-----------|--|---|
| 発達障害関係 | <当事者・家族> ・ 市内施設等を通じて紹介していただいた方、数名 <家族会> ・ 府中市発達障害児者親の会 虹色てんとう虫 <支援団体> ・ NPO法人発達カウンセリング ポップシップ <教育関係者> ・ 都立府中けやきの森学園 | ・ 当事者・家族が地域生活において困っていること、不安 ・ 療育・保育・教育機関に期待すること、必要な支援 ・ 地域生活支援・就労支援で必要なこと ・ 地域・市民に求めること ・ 公的な支援として必要なこと |
| 高次脳機能障害関係 | <当事者・家族> ・ 市内施設等を通じて紹介していただいた方、数名 <支援施設> ・ 地域生活支援センター あけぼの ・ 集いの家 ・ 作業所スクラム | ・ 当事者・家族が地域生活において困っていること、不安 ・ 地域生活支援・就労支援で必要なこと ・ 地域・市民に求めること ・ 公的な支援として必要なこと |

3 調査方法

発達障害関係、高次脳機能障害関係、それぞれのグループごとにインタビューを行う。各グループの人数は5～7人程度、所要時間は約1時間30分程度を予定。

4 調査時期

平成25年10月下旬から11月上旬